

紫峰会報

第 79 号

2002年 2月21日発行

E-mail admin@shihoukai.gr.jp

URL http://www.shihoukai.gr.jp/

編集・発行 紫峰会[筑波大学学生後援会] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保3-10-7学園都市ビル3F Tel0298-52-8572



冬の間も、
サークルは
元気でした。

この飛行機で、空へ(飛行機研究会・本文5頁)



クリスマスコンサートより(本文2頁)
上：邦楽部とつくばフォーク村の
ジョイント演奏
下2点：出演者のコスチュームもク
リスマス気分を盛り上げる(E.L.L.と
吹奏楽団有志)



激しいタックルにも負けぬ！ (アメリカンフットボール部)

紫峰会ホームページ <http://www.shihoukai.gr.jp/> にはより詳しい情報と多彩な写真が満載されています！

平成13年度

卒業式・修了式のご案内

学類・専門学群 卒業式

3/25(月) 10:00より 大学会館講堂にて
ご父母等の方々は、大学会館3階
国際会議室にて、モニターによ
り、式の模様をご覧ください。

お問い合わせ：

総務部総務課 Tel. 0298-53-2024
大学院(修士・博士) 修了式

3/25(月) 13:15より 大学会館講堂にて
ご父母等の方々は、大学会館ホー
ルにて、モニターにより、式の模
様をご覧ください。

お問い合わせ：

学務部大学院課 Tel. 0298-53-2232
医療技術短期大学部 卒業式

3/22(金) 10:30より 大学会館ホールにて
会場内にご父母等の席が設置されます。

お問い合わせ：

医療短大庶務係 Tel. 0298-53-3415

平成14年度

入学式のご案内

学類・専門学群

4/8(月) 10:00より 大学会館講堂にて
父母等の方は大学会館ホールに
て、モニターにより式の模様をご
覧頂けます。

入学式終了後は三系(文化系サーク
ル連合会、体育会、芸術系サークル連
合会)主催の新生歓迎祭が行われ、
数多くのサークルのステージ・パ
フォーマンス・勧誘が新生の皆さん
を待っています。

大学院(修士・博士)

4/8(月) 14:15より 大学会館講堂にて
父母等の方は、大学会館ホール
にて、モニターにより式の模様を
ご覧頂けます。

医療技術短期大学部

4/9(火) 10:30より 大学会館ホールにて
会場に父母等の席が設置されます。

今後の主な予定

英語・ドイツ語検定試験	2 / 22
三学期末試験	3 / 1 ~ 7
春期休業	3 / 8 ~ 4 / 7
学群合格者入学手続き	前期 3 / 15 後期 3 / 26
宿舍入居	平砂・追越宿舍 4 / 4・5 一ノ矢宿舍 4 / 6
授業開始	学群 4 / 11 大学院 4 / 9 医療短大 4 / 12
紫峰会報80号発行	4 / 25 (予定)
前期授業料納期限	4 / 30
秋季スポーツ・デー	5/18・19
第18回つくば芸術祭	5/18・19
やどかり祭	5/31・6/1
卒業式・入学式等は左記をご参照下さい。	

卒業式・入学式へお車でお越しの方へ
筑波大学内の駐車場に駐車するには
臨時入構証が必要です。ご来学の際、
案内所にお申し出下さい。

Campus News

大学会館主催 クリスマスコンサート開催(寄稿)

2001年12月12～14日の三日間、大学会館においてクリスマスコンサートが催されました。このクリスマスコンサートは、毎年大学会館が主催し、芸術系サークル連合会(芸サ連)所属のサークルが出演しています。運営は、芸サ連が行っています。

今年度は、ピアノ愛好会、ブロックフレート同好会、合唱団むくどり、JAZZ愛好会、吹奏楽団、フォルクローレ愛好会、津軽三味線倶楽部無絃塾、邦楽部、フォーク村、筑波放送協会、ギター・マンドリン部、E.L.L.、YANA Show-ji(管弦楽団の内部団体)、筑波音楽協会が個性を生かしたステージを、またギャラリーでは、写真部が展示を行いました。特に今回は、二つの異なるサークルが合同で演奏する「ジョイント企画」(JAZZ愛好会+吹奏楽団、邦楽部+つくばフォーク村(表紙写真)、YANA Show-ji+筑波音楽協会(写真下))が好評でした。



好評を博したジョイント企画

私自身も、所属するギター・マンドリン部で演奏しましたが、一方芸サ連として運営側にも参加しました。運営の一端に関わることにより、このクリスマスコンサートの宣伝や打ち合わせをかなり早い段階から綿密に行わなければならないことや、音響・照明を担当して下さった方々、大学会館の職員の方々といった、陰で協力して下さった方々がいてはじめてクリスマスコンサートの舞台が成り立つもののだと実感しました。

芸サ連で働く者は、クリスマスコンサートのような時に、所属サークルの発表を手助けするのが役目だと私は考えています。そして芸サ連を大学内外

にアピールし、芸術の素晴らしさを伝えることが最終目標です。私自身も芸術(私の場合音楽)に携わる者として、芸サ連の運営をする者として、今述べた目標に少しでも近づきたいと願っています。(寄稿/クリスマスコンサート当日担当責任者 永井薫 人文学類2年)

課外活動リーダー研修会に参加して

昨年の12月8・9日に「茨城県立さしま少年自然の家」でリーダー研修会が行われました。リーダー研修会とは「各サークルの次期幹部と三系(体育会、芸術系サークル連合会、文化系サークル連合会)の役員が集まり、講演会やレクリエーションを通して、組織の運営者としての自分の役割を認識してもらっただけでなく、各サークル間の親睦を深める」ことを目的に行われる行事です。研修会の内容は講演会、全体会、系別会、懇親会に大別されます。全体会では全体で研修会の目的に添ったゲームを行い、系別会では三系がそれぞれに独自の研修プログラムを行いました。今回の参加者は前回の170名を越え、200名以上にもなりました。

この研修会に参加して得られたものは色々ありますが、中でも最大の収穫は他サークルとの親睦・情報交換でした。サークルによっては、普段はお互いに交流・関心を持つことのないところもあり、悪く言えば自分のサークルという殻に閉じこもっている印象を受けます。目的・活動内容がサークルによって様々ですから、仕方がないのかもしれませんが、しかし、同じ建物を共有しているサークルのことさえ、よくわからないというのも他人に無関心な現代の世相を反映しているようで、何だかさびしく感じていました。リーダー研修会で寝食を共にし、レクリエーションをすることで各サークルの人との親睦が深まり、自己サークル紹介やディスカッションを通して、他



ここで多くを学び、新しい交流が生まれる

サークルのことが少しはわかったような気がします。今後はこの研修会で得られたことを生かして、より視野の広いサークル活動を目指していきたいと思います。最後になりましたが、リーダー研修会を計画・実行して下さった実行委員の方々、それを支援してくれた方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。(文責/文サ連広報局長 徳若和紀 資源1年)

茗溪・筑波グラントフェスティバル開催(寄稿) MTGFを終えて

去る2月3日、東京の大塚にある茗溪会館にて、東京高等師範以来のOB・OGを集め、第6回茗溪・筑波グラントフェスティバル(MTGF)が開催されました。我々MTGF学生委員は、唯一の経験者である岸本貞弥君(情報3年)を中心に、一年ほど前に結成されました。これまでは、学生が運営に積極的に関与する意義が見出せないでしたが、学生委員の間で、これでもかと言うほど意見交換し、少しずつイメージが膨らみ、学生にとってのMTGFと言うものが見えてきました。

今回のMTGFではテーマを「創」とし、新しく祭を「創」り上げることと、このフェスティバル本来の主旨である「世代や所属の枠を超えた新たな交流の“創”出」と言う二つの願いを込めました。と言うのも、以前のMTGFでは、旧交を温める場にはなっていましたが、新たな交流を生み出すと言う点においては物足りなかったからです。

そこで今回はパネルディスカッション企画を二つ同時開催しました。一つは茗溪・筑波の昔話を起点として筑波大学の今後を考える「筑波大学を創る」、もう一つはトップクラスの筑波大出身選手を集めて、筑波大学の特徴であるスポーツを題材にした「スポーツの祭典」でした。両企画とも、異なる雰囲気ながら、なかなかの盛り上がりが見られました。

新たな形でのMTGFはまだ創(はじ)まったばかりです。今は小さな源流ですが、いずれ大河となる時、筑波大学は今よりもっと面白い大学になっていると私は信じています。(寄稿/MTGF学生実行委員 高石友博 情報2年)

特別寄稿

「オレゴンからの手紙」

筑波大学には海外に留学して、自分をより高めようという学生が多くいます。しかし、彼らがどんなことを学び、何を思っているかを知る機会はその多くないでしょう。今回、アメリカへ留学中の大学院生から紫峰会へ手紙が寄せられました。これをご紹介しますと思います。志に燃える学生の生の声をお聞き下さい。

いま、アメリカのオレゴン州にある小さな大学街アッシュランドから、この手紙を書いています。

昨年の冬から南オレゴン大学に客員研究員として滞在し、約2ヶ月が経とうとしています。日常生活には全く不自由をしていますが、今までに味わったことのない、期待と不安の中で毎日生活をおくっています。その期待と不安の根源は、帰国後に、アメリカでの研究の成果を博士論文としてまとめて提出し、学位審査に挑まなければならないことです。この手紙では、そうした期待と不安から少しでも離れて、ここオレゴンでの研究生活に関して近況報告をしたいと思います。

私はここ数年、教育財政学を専門とし、特にアメリカの州立大学財政の分析に力を注いできました。既に法人化



自分の研究室にて

されている州立大学の財政分析は、日本でも国立大学の法人化問題が浮上しているだけに、たいへん興味深いものがあります。幸か不幸か、教育制度の地方分権化や民営化の実態を財政的に実証するという研究は、日本でも、そして世界でも、先行研究がほとんどないため、やり甲斐があります。なぜ、オレゴン州を事例に研究しているのか、とよく聞かれます。その最大の理由は、オレゴン州では過去10年間に、教育の民営化が、政治的に、そして財政的に、急速に進んでいることにあります。オレゴン州では、小・中学校教育への税金投入をも制限する法案が1990年に可決されたほどです。教育は果たして、国が行うべきか、それとも塾のような民間企業が行うべきか。どちらが教育の機会均等を実現しながら、より良質で、より安い教育サービスを安定的に提供できるのか、という疑問は僕の研究の出発点でした。

そんな中、所属先の南オレゴン大学

も州立であるため、厳しい財政運営を強いられています。結局、法人化されている州立大学でも政府予算に依存しているのが現実のようです。ただ、「オレゴン州の深刻な経済・財政情勢は、外国人研究者の君にとっては『好機』だな」と、世話人の先生は苦笑いしています。

帰国後の論文作成と学位審査を間近に控えて、冒頭でお話した期待と不安は、やはり入り混じったままに高まる一方ですが、この米国での経験と研究成果を活かせるよう、残された時間を有効に使っていこうと思います。最後になりましたが、何かと心配と不安をかけている両親をはじめ、色々とお世話になった紫峰会[筑波大学学生後援会]の方々に、改めてお礼を申し上げます。近況報告とさせていただきます。

草々

社会科学部研究科4年 塙 武郎



指導教官 Kempner 先生のオフィスにて

学生相談室から

受付窓口 0298-53-2415

電話相談 0298-53-2406

「春」

佐藤 純(心理学系)

「病気になるのはじめて健康のありがたみを感じる」と、よく言われます。体の調子がよく、うまくいっている時は、自分の体について意識が向くことは少ないけれども、調子が悪くなると気にするようになるからなのでしょう。これは、別に健康に限ったことではありません。どんなことでもうまく進んでいる最中は、そのことを強く意識せずにそれが当然のことであるかのように生活しています。しかし、ふと立ち止まって考えてみると、今まで普通に生きてきたことがいかに大切な経験であったかを感じる時があります。

春は卒業シーズンですが、この時期も今まで気づけなかった大事なことに気づく時期の一つです。大学4年生は、これまであまり意識してこなかった大学生活が、いかに貴重な体験であったかをこれから感じていくはずで、サークル活動に打ちこんだ人、研究に没頭した人は、充実した日々の価値を感じるでしょう。一方、自分は何が特別な活動をしていたわけでもなかったから、それほど貴重な4年間だとは思わないと思う人がいるかもしれません。しかし、そんなことはありません。特に何をしたというわけではなくても、その瞬間、その瞬間を自分なりに考えて4年間を生きてきたはずで、そのこと自体が貴重だったということ、感じられる日が来るはずで、また、これから大学生になり一人暮らしを始めようとしている人は、何

気ない顔をして毎日家事をしてくれていた親の大切さがわかることでしょう。親御さんにしてみれば、これまで手を焼いてきたお子さんが親元を離れてみて、あらためてその存在感を感じるに違いありません。

春は別れの季節でもありますが、その後には出会いが待っています。出会いと別れはセットです。別れがあれば出会いがあるのです。別れた後になって、別れたものの大切さに気づいて出会いをおすことだってあります。よい春を迎えてください。



この春、どんな出会いが待っているだろうか

第48回 理事会報告

平成14年2月16日(土)午後3時より筑波研修センター第1研修室において、第48回紫峰会理事会が開催され、以下の各議題について、審議・報告が行われた(詳細は、紫峰会ホームページ<http://www.shihoukai.gr.jp/>を参照)。

平成13年度補正予算書案が承認された。(グラフ参照)

今年度、経済状況の低迷にともない入会率が低下し、一般会計における年度末の当期収入合計は56,092,415円程度となることが見込まれること、新規事業の立ち上げに伴う大幅な経費の増加などを見込み、補正予算が組まれたことが説明された。質疑応答の後承認された。

平成14年度の事業計画書案及び収支予算書案が審議・検討された。

平成14年度事業計画書は、事業方針として(1)課外活動への財政援助の枠組みをさらに適切なものとするとともに、団体や組織の広報活動・団体運営等へのサービスの充実を図ること(2)学生の生活・学習・就職活動などの便宜を図ること(3)様々な機会・メディアを活用して学生や会員等への適切な情報提供を行い、また、より多くの人々への本会のアピールを通して会員の拡大を図ること(4)UTコレクションの本格的展開により、売上の増加を図るとともに、筑波大学のCI推進を支援し、大学や学生に対する応援の気運を高めることなどが柱とされており、具体的な事業内容はほぼ今年度事業の継承となっている。

質疑応答があり、この議事を次回理

平成13年度紫峰会協賛会員
 エスアイアイ販売株式会社
 オルガノ株式会社
 株式会社NSP(日清製油グループ)
 株式会社アジア住販
 株式会社茨城計算センター
 株式会社エフ・ディー・シー
 株式会社システムポート筑波
 株式会社ジャスティー
 株式会社スタッフサービス
 株式会社筑波学園自動車学校
 株式会社フォーラムエンジニアリング

事会までの暫定予算及び事業計画として承認し、次回の理事会において入会率向上の方策などを盛り込み、再検討がなされることとなった。

平成13年度の課外活動団体援助金系別配分額案が承認された(表参照)。

この配分額案は、各サークルからの収支計算書に基づき、三系財務会議(文サ連・芸サ連・体育会の各財務局長による会議)においてまとめられたものであるが、今年度は、特別援助金が予算額を大きく越えて申請された為、一般・遠征援助金の枠から特別援助金へ100万円分移動し総額で1,600

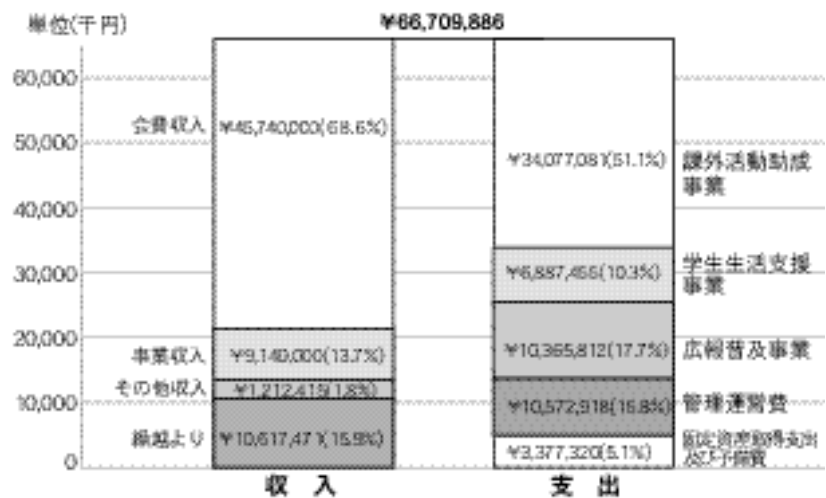
万円で配分額案が作成されたことが説明された。本理事会承認後、個々のサークルへの支給額を各系の系別責任者会議において決定し5・6月に各サークルに支給される。

平成14年度役員が選任された。

現役員のうち、理事の飯塚氏・中村氏がご息女の卒業に伴いまた理事の友常氏が多忙の為退任となる。後任については候補者の確認が取れていないことから、会長に一任となった。

理事会終了後、紫峰会役員・顧問と三系の学生代表を交えての懇親会が開催された。

グラフ：平成13年度一般会計補正予算収入内訳・目的別支出内訳



表：平成13年度紫峰会課外活動団体援助金系別配分額

	文サ連	芸サ連	体育会	合計
援助金総額	¥1,527,435	¥2,998,102	¥11,474,463	¥16,000,000
援助対象自己負担総額	15,511,803	71,825,370	264,664,722	
配分率(%)	9.55%	18.74%	71.72%	
援助援助率	9.85%	4.17%	4.34%	
一般援助金額	¥1,105,968	¥1,491,698	¥4,202,334	¥6,800,000
一般援助対象自己負担額	7,110,373	41,797,053	119,703,772	
配分率(%)	16.26%	21.94%	61.80%	
援助援助率	15.55%	3.57%	3.51%	
遠征援助金額	¥421,467	¥1,506,404	¥7,272,129	¥9,200,000
遠征援助対象自己負担額	8,401,430	30,028,317	144,960,950	
配分率(%)	4.58%	16.37%	79.04%	
援助援助率	5.02%	5.02%	5.02%	

株式会社リクルートスタッフィング
 黒田印刷株式会社
 新光証券株式会社
 寺島薬局株式会社
 日本精工株式会社
 日本情報産業株式会社
 日本流通企画株式会社
 沼尻産業株式会社
 富士アウトソーシング株式会社
 北越製紙株式会社
 ホテルスワ
 ホテル松島

三井住友海上火災保険株式会社
 有限会社アテック
 有限会社柿本ハウジング
 有限会社グッドライフ
 有限会社ネクスト
 有限会社むうじゅ
 豊商事株式会社
 ラグーン
 (50音順・平成14年2月現在)
 <特別会員>
 (財)筑波学都資金財団

筑波大学体育会 のご紹介

筑波大学体育会は今年で26年目を迎えます。委員長秋山拓(体育3年

体操部)を筆頭に「みんなで支えあう体育会」を目指し、構成員総勢約3千人規模で活動しています。

体育会の実務をこなす各団体の運営委員全員が集合して撮ったのが下の写真です。試合等で着用するユニフォー

ムを着て撮りました。この様子は体育会公式HPでも公開しています。ぜひご覧ください。(文責/体育会広報局長小塩淳仁 人文2年)

体育会運営委員、ユニフォーム姿で大集合!



体育会ホームページ <http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/sTaiiku/>

体育会医学支部 来たれ、医学生!

筑波大学体育会医学支部は、医学専門学群生が主体となって活動している組織です。現在20種目の運動系サークルがあります。医学専門学群の新生の9割がこのサークルに所属し、スポーツを楽しんでいます。医学生が主体ですが、誰でも参加できます。部会にはついていけないけれど、同好会では物足りないという人に最適です。医学支部の多くのサークルにとって、ハイライトと言えるのが、年1回の「東日本医科学生体育大会」(以下、東医体)という、医学生のスポーツの祭典です。筑波大学はこの東医体で、陸上競技女子総合1位、卓球男子優勝をはじめ、多くの部が好成績を収め、今年度総合第2位です。どのサークルも新生の半分以上は初心者から始めます

から、この成績は筑波大学にスポーツをする環境が整っている何よりの証拠といえます。熱く頑張りたい、体力を付けたい、ダイエットをしたい、目標は様々でも、みな医学支部の原動力となっています。

そして今年夏、このスポーツの祭典「東医体」が筑波にやってきました。筑波大学は副主管としていくつかの種目を主催します。好成績が期待される筑波大学は主催校として、祭典のムードが一気に高まっています。

4月には、医学支部のサークルが一丸となった新生歓迎活動を行い、新人獲得の熱い戦いが繰り広げられます。新生諸君!サークル活動は大学生活のすべての源になり得るものです。すなわち、体力が無くては厳しい医学の道も、進むことができないのです。それにも増して、仲間がいない学生生活は考えられません。生涯続く大

切な友人を得られるのはこのサークルです。学群外の友人を得られるのもこのサークルのです。さらに医師として活躍している先生方との交流の場でもあります。ここで築かれる関係は大切なものです。幅広い人間関係の構築が、将来の人としての、医師としての人間性を高める一助となっていることは言うまでもありません。

スポーツをしたことのない君!仲間作りの苦手な君!医学支部は諸君のためにあるのです。後悔はさせません、一步踏み出してください!(寄稿/体育会医学支部執行委員長 芦澤圭 医学3年)



医学支部主将勢揃い(平成13年度納会にて)

文サ連のページ

サークル紹介 飛行機研究会



おなじみ、鳥人間コンテストに出場

20世紀初頭、ライト兄弟は自分たちの技術の限りを尽くして、人類初の動力飛行という偉業を達成しました。また、それ以前にも多くの者たちが自分の技術と力を使い大空に挑戦していました。一体何が彼らをそうさせたのか？それは、空への憧れだと思います。人は、自力で空を飛ぶことはできません。だからこそ、知能という武器を使い、憧れの空に挑もうとするのではないのでしょうか。そんな、空に魅せられた者たちが集まっているのが、我々「飛行機研究会」です。

そんなサークルですので活動の目的は「自分たちで作った機体を空に飛ばす」、この一点に尽きます。基本的に1年間をかけて、1機の機体を仕上げます。もちろん、個人の力で行うことは不可能で、サークルのメンバー全員が作業を分担し合い、少しずつ作業を進めていき、完成を目指します。そして、毎年7月の終わりに琵琶湖にて行われる読売テレビ主催「鳥人間コンテスト」に参加し、その成果を試しています。近年の成績は振るいませんが、過去においては2位という輝かしい成績を収めたこともあります。

空を飛ぶということには、さまざまな困難があります。図面上の設計と実際の作業が、お互いに高い精度を持たないと、飛ぶ機体を作ることができません。しかし、初めて作った機体が飛んだとき、憧れの空が自分たちに少し近づいたとき、そのときのことを考えると、それくらいハードルは乗り越えよう、と思えます。だから、今日も機体を作ります。(寄稿 / 飛行機研究会 古畑俊一郎 工シス1年)

サークル紹介 手話サークル



学園祭では、伝統のお好み焼き屋を出店
手話サークルというと手話講習会のような活動を想像されるかもしれませんが、筑波大学の手話サークルでは、「練習」という活動をメインにしています。これはゲーム感覚で自然なコミュニケーションの中から手話を学んでいこうというスタンスのもと、すぐろくや伝言ゲームなどを手話で行うものです。月々の目標に応じてオリジナルのゲームを作ることもあります。手話が分からなくてもサークルメンバーそれぞれが工夫をしてコミュニケーションをしていくことや、周りのメンバーの手話表現を見ることによってアットホームな空気の中で自然に手話を覚えていきます。

学園祭では手話劇の公演と広島風お好み焼きの販売の2つのイベントを行います。手話劇は難聴や聾(聴覚障害者)の方も来られ、高い評価を受けています。手話が分からない人でもストーリーが分かるようなさまざまな工夫と、役者たちの表現力で毎年成功をおさめています。お好み焼きもおいしい焼き方を特訓し学園祭では大好評を博しています。

このように肩の力を抜いて、自然な状態で手話を使うことがサークルメンバーにとってとても楽しいひとときとなっています。(寄稿 / 手話サークル 伊藤真奈美 人間2)

サークル紹介 映画研究部

「映画研究部」は筑波大学の前身である東京教育大学の頃から続く大変歴史のある部です。映画を観ることが好きな人、映画を撮ることが好きな人、そして音楽が好きな人が集まって穏やかに活動しています。

主な活動内容は、月に一度の映画上映会、その度に発行される「カチンコ」という冊子の制作、文化祭での映画上映会、また毎年二月には東京で現役の部員とOB・OGが交流するOB会も開かれます。歴史が長いだけに、集まる人達の年齢層が広く、普段あまり聞くことのできない興味深い話を聞ける貴重な機会です。もちろん皆映画が大好きな人ばかりで、中には自ら映画を制作している人もいます。

映画研究部が上映会で上映する映画は、古いものから新しいものまで幅広く、ジャンルも様々で人にあまり知られていない映画がほとんどです。有名でない作品にも素晴らしい名画がたくさんあるのです。それを少しでも多くの人々に知っていただければと思います。これから映画を応援する映画研究部を宜しく願いいたします。(寄稿 / 映画研究部 瀬島志保子 芸術2年)



文化系サークル館でのミーティング風景

文サ連の活動

多くの文サ連所属サークルにとって、共通の大きな活動の機会が、春の新入生歓迎祭と、秋の学園祭です。

新入生歓迎祭までは、あとわずか。新入生にとっては色々なサークルを見ることができる機会ですが、サークルにとってはその中から何とか自分たちの所へ来てもらおうと、工夫を凝らさなければいけない場でもあります。

秋の学園祭は言わずと知れた一大イベント。学園祭にサークルによる発表は不可欠です。文サ連では、この学園祭の活動にもっとも力を注いでいるサークルも数多くあります。

一方、文サ連内部向けにレクリエーションとして文サ連ソフトボール大会を年二回開催しています。強豪サークルには特訓を重ねてくるところもあれば、恒例行事として親しまれています。

芸サ連のページ

サークル紹介 メンネルコール

メンネルコールって一体何？よくこう言われますが、もっともな質問です。筑波大学のサークルにはこのように名前を聞いただけでは何をやっているかわからないところがいくつかありますが、メンネルコールもその仲間です。メンネルコールとはドイツ語で男声合唱という意味(本当は若干発音が違いますが)。そう、我々は筑波大学の男声合唱団なのです。筑波大学メンネルコールという団体は今年でちょうど25周年を迎えるそれなりに歴史のある団体です。

活動内容は自分たちの手でコンサートを開いてそこで気持ち良く歌って、さらにはお客様に満足してもらうことです。年一回の定期コンサートの他、合唱団むくどりと毎年合同でコンサートを開催したりしています。(寄稿/メンネルコール 尾崎仁紀 社工2年)



メンネルコールコンサートは年に一度の晴れ舞台

サークル紹介 ブロックフレーテ同好会



大小様々なリコーダーによるアンサンブル
当ブロックフレーテ同好会は、その名前からすぐには活動内容がわかりにくいサークルである。活動は主としてリコーダーの演奏である。(リコーダーのドイツ語名がBlockflöteである。)毎年数回演奏会を行い、学内関係者や地域の人々にリコーダーの素朴で柔らかな音色を提供している。近隣の小学校に訪問演奏に行くこともあるが、その演奏会終了後、教室に戻った子供達が早速自分のリコーダーを吹き始める場面に会い、リコーダー文化の振興に一役買ったなと自負する瞬間もあった。

なお、他大学のリコーダーサークルとの交流も盛んで、昨年度の夏休みにはCRE(千葉大学リコーダーアンサンブル)との合同合宿も行われた。今年度も多くの人にリコーダーの素晴らしさを伝えていこうと思う。(寄稿/ブロックフレーテ同好会会長 塩畑浩司 日2年)

サークル紹介 人形劇団 NEU

こんにちは、人形劇団NEUです。私達の活動は、大雑把に言えば人形劇をつくり、発表するということです。'人形劇団'なのだから当り前のことではあるのですが、発表に至るまでの過程を全て自分達でつくりあげるのです。脚本をつくり、人形をつくり、舞台をつくり、自分達の味つけで劇をつくりあげていく。そして、自分の表現したいことを少しずつ形にしていき、人形劇を通して、観にきてくれた人々の心に何かを感じさせようと発表しているのです。'人形劇'に対して多くの方は'子供向け'といった印象を持つと思いますが、決して子供だけが対象ではなく、多くの人を楽しめるものだと思います。私達は幅広い年齢を対象に何かを表現し伝える空間をつくりあげたいと思っています。次の新歓公演は、大人を対象としていますので、興味をお持ちの方は是非お越し下さい。(寄稿/人形劇団NEU 草刈万里子 生物2年)



人形劇での表現に打ち込むNEUの面々

芸サ連サークルホームページ一覧

多くのサークルがホームページで公演予定などを宣伝しています。サークル毎の詳しい情報はこちらをご覧ください。

芸術系サークル連合会	: http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/sGeijyutu/
応援団桐葉	: http://www.shihoukai.gr.jp/murakami/ouendan/
筑波放送協会(THK)	: http://www.thkweb.net/
劇団筑波小劇場	: http://www.ipe.tsukuba.ac.jp/s990562/tsukusyou.html
吹奏楽団	: http://www.jks.is.tsukuba.ac.jp/i001183/utsb/
メンネルコール	: http://member.nifty.ne.jp/manner-7/
ピアノ愛好会	: http://www.jks.is.tsukuba.ac.jp/hayasida/plovers/
ELL	: http://www.ceres.dti.ne.jp/maedace/
Doo-wop	: http://www.geocities.co.jp/Berkeley/6289/
混声合唱団	: http://fweb.midi.co.jp/konsei/
ブロックフレーテ同好会	: http://www.ipe.tsukuba.ac.jp/s981241/
劇団竹蜻蛉	: http://www1.accsnet.ne.jp/t-yam.7/taketombo.index.html
管弦楽団	: http://www.tsukuba-orch.com/
JAZZ 愛好会	: http://www2.to/tsukuba-jazzken/
筑波音楽協会	: http://www1.accsnet.ne.jp/cap/chikuon/

芸サ連公演等予定一覧

是非お立ち寄りください!

劇団筑波小劇場 3月上旬 卒業公演「太陽K」 吹奏楽団 6/8 定期演奏会(ノパホール) 邦楽部 3/13 卒業演奏会(つくばカピオホール)開場17:30開演18:00 無料 筑波能・狂言研究会 3/19 卒業公演「蝶舞百花」次頁参照 津軽三味線倶楽部無絃塾 3/21 第五回卒業公演 次頁参照 書道部 2/25~3/1 書道部如月書展(学生会館ギャラリー) 9:00~19:00(最終日は17:00まで) 無料 落語研究会 3/10 追出寄席(つくばカピオ4階和室)開場13:00開演13:30 無料

4/13,14に伝統文化系サークル合同企画「天上大風」、5/18,19には芸サ連主催「つくば芸術祭」が開催されます。

もうすぐ春の特別企画

宿舎的 筑波生活指南

新入生のみなさんも学生父母のみなさんも、筑波ならではの「宿舎生活」というのがどんなものか興味をもっていらっしやるのではないのでしょうか。これから始まる生活はどんなものなのか、我が子はいったいどんな環境で生活しているのだろうか・・・今回は特別企画として、筑波大の宿舎生活をご紹介します。

宿舎の住環境は・・・

四千人以上の学生が生活を送る筑波大学の宿舎群には例年、新入生の九割以上が入居している。ここでは宿舎における学生の生活環境を紹介していこう。

宿舎群は、平砂・追越・一の矢の三カ所に分かれており、入居日は

平砂・追越 4月4・5日

一の矢 4月6日

となっている。この日には各宿舎群にある共用棟で自転車や電化製品、ラック等の販売が行われ、新生活に必要なだいたい物は購入できる。この共用棟は宿舎生活とは切り離せない存在



狭く質素な部屋も装飾次第で心地よい場所に

で、管理事務所・浴場・売店・電気店・食堂・理髪店・メールボックスがあり、普段は自転車の空気入れの貸出や、切れた蛍光灯の交換も行っている。

各住居棟には、共用のトイレ・洗濯機・乾燥機・補食室がある。洗濯機・乾燥機に関しては、一台につきだいたい十人が使用しており、窮屈なのが現状である。



自炊派には欠かせない補食室

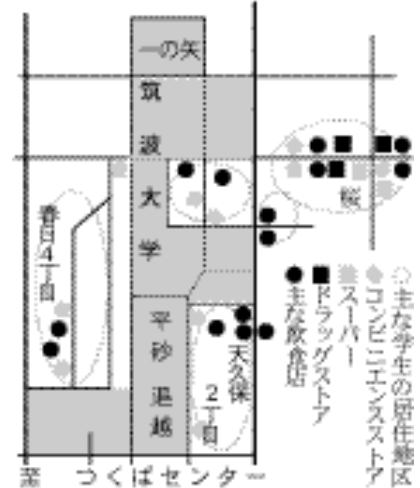
宿舎の中には世帯部屋や二人部屋もあるが、新入生が入居するのは個室になる。個室の広さは約9平方メートルで、方形の部屋以外に、角部屋の中にはL字形や五角形の部屋もある。各部屋にはベッド・机・椅子が予め備え付けられており、枕・枕カバー・シーツ・毛布は無料で貸し出してもらえ(掛け布団は有料)。

多くの学生にとっては、初めは慣れない宿舎生活に戸惑うことも多かったが、ひと月もすると近隣の居住者と仲良くなり、宿舎生活は楽しいものになる。そのため、ずっと宿舎に残りたいと思っている学生も少なくない。

宿舎の外にはこんな所も・・・

筑波大学をはじめとする研究学園都市地区は、きれいに区画され、たくさんの緑に囲まれている。大通りには幅の広い歩道が整備され、ペDESTリア

ンという歩行者・自転車専用道もある。そんな中で、筑波大生の移動手段は専ら自転車である。大学の周辺には自転車の行動範囲内で一通りの生活が営めるよう整っている。以下に主な地区ごとにその特徴をあげる。



天久保、平砂・追越宿舎地区

宿舎とその東側に広がるアパート街。コンビニ・飲食店多し。4月の入居時期には満開の桜並木が新入生を迎える。

一ノ矢宿舎地区

たくさんの樹木に囲まれた静かな宿舎。共用棟は最も広く充実している。

テクノパーク桜地区

自転車で移動できる行動範囲では随一の買い物スポット。スーパー、コンビニ、ドラッグストア、飲食店と何でも揃っている。

春日4丁目地区

大学西側の、学生の住居街。安くて住み良いアパート、マンションが充実。

つくばセンター付近

東京や羽田空港、県内各地へバスで移動する際にはここへ来れば全て事足りる。百貨店やホテルもある。

筑波大学津軽三味線倶楽部無絃塾 第五回卒業公演

毎回凝った舞台で観客を楽しませてくれる、無絃塾卒業公演が以下にて開催されます。

日時 3月21日(木・祝)

昼・11:00 開場 11:30 開演

夜・16:30 開場 17:00 開演

会場 土浦市民会館大ホール

入場料 一階席2000円

二階席1500円 学生500円引き

問い合わせ 井坂斗絲幸 Tel. 0298-87-0571

筑波能・狂言研究会卒業公演 「蝶舞百花」

私達、筑波能・狂言研究会は今年度創設55周年を迎え、部員一同より良い舞台にする為、日々練習に勤しんでいます。

日時 3月19日 15:30より

場所 つくばカピオ小ホール

演目 胡蝶、末広り他、仕舞・小舞多数

皆様お問い合わせのうえ是非お越しください。

